

平成23年8月31日公表

平成23年産水稲の8月15日現在における生育及び作柄概況（九州）

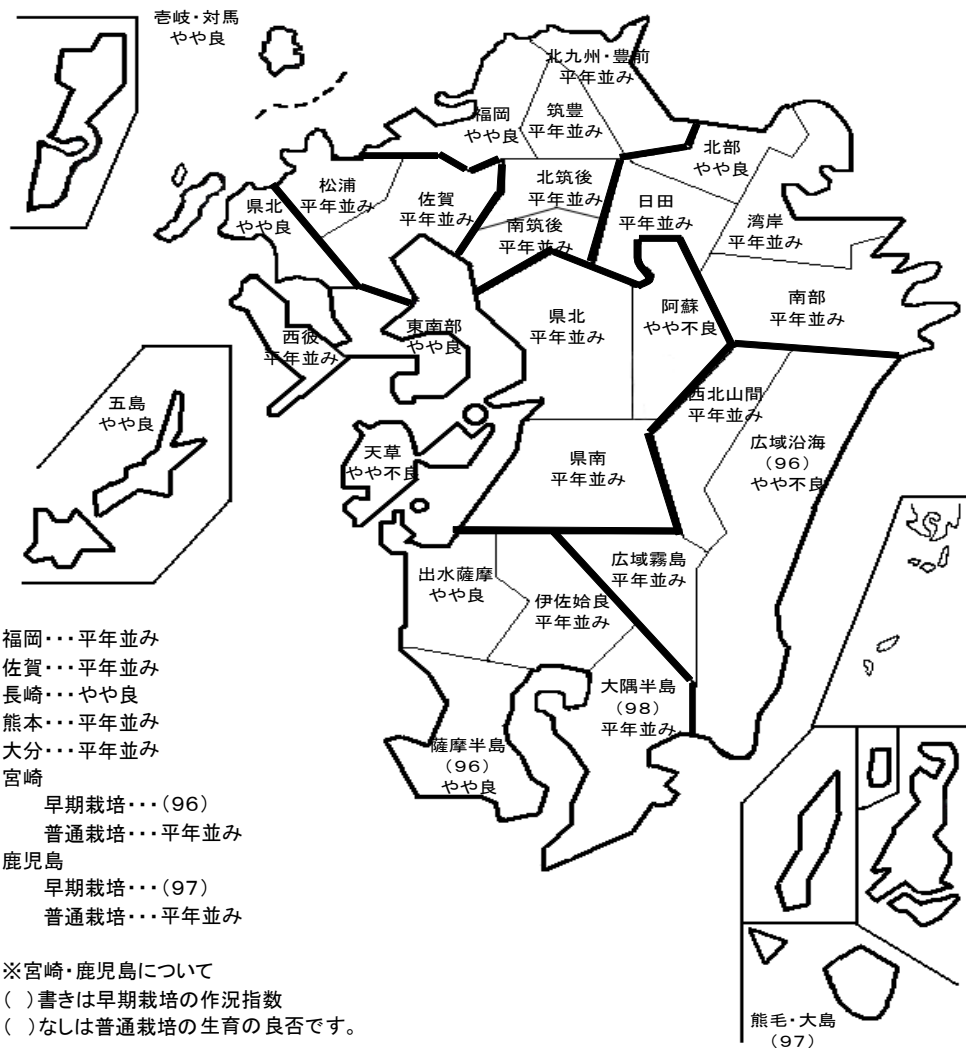
—— 普通栽培水稲の生育は、「やや良」ないし「平年並み」 ——

【調査結果の概要】

早期栽培水稲の作柄は、宮崎が10a当たり予想収量462kg（作況指数96）、鹿児島が10a当たり予想収量428kg（同97）が見込まれます。

普通栽培水稲の生育は、福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎及び鹿児島は「平年並み」、長崎は「やや良」となっています。

図 県別地帯別生育概況(8月15日現在)



本統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。
 【 <http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/index.html> 】
 この統計調査における調査目的、調査対象などの調査仕様は、【調査の概要】P5に掲載しています。

【解説】

1 早期栽培水稻（宮崎、鹿児島）

- (1) 穂数は、3月下旬から4月上旬の低温により分けつが抑制され、宮崎で「やや少ない」、鹿児島で「少ない」となりました。
- (2) 全もみ数は、出穂前の日照不足により1穂当たりもみ数が、宮崎で「やや少ない」、鹿児島で「平年並み」とどまったことから、宮崎、鹿児島ともに「少ない」となりました。
- (3) 登熟は、7月中旬以降おおむね天候に恵まれ、宮崎は「やや良」、鹿児島は日照時間が平年を上回ったことから「良」となりました。
- (4) 被害は、田植期の低温により穂数が少なくなり、出穂前の日照不足により1穂当たりもみ数が少なくなりました。また、台風第6号により倒伏が見られました。
いもち病、紋枯病及び虫害が散見されるものの被害は軽微でした。
- (5) 以上により作柄は、宮崎が10a当たり予想収量462kg（作況指数96）、鹿児島が10a当たり予想収量428kg（同97）が見込まれます。

2 普通栽培水稻

生育は、福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎及び鹿児島においては、梅雨明け以降おおむね天候に恵まれ「平年並み」となっています。

長崎においては、田植期以降日照時間が平年を大きく上回ったことから分けつが旺盛で「やや良」となっています。

表1 早期栽培水稻の作柄概況（8月15日現在）

区 分	10a当たり (予想)収量 ①	10a当たり 平年収量 ②	(参 考)		
			予想收穫量 ③=①×④	1) 作付面積 (子実用、見込み) ④	作 況 指 数 ⑤=①/②
	kg	kg	t	ha	
宮 崎	462	480	36,600	7,920	96
広域沿海	462	480	96
鹿 児 島	428	441	23,600	5,520	97
薩摩半島	423	442	96
大隅半島	443	451	98
熊毛・大島	401	414	97

注： 1) の作付面積（子実用、見込み）については、関係機関等からの情報収集により把握した現時点での見込みの面積（参考値）であり、今後変わる可能性があります。

表2 早期栽培水稻の作柄概況及び刈取済面積割合（8月15日現在）

区 分	平 年 比 較				刈取済面積割合	
	穂 数 の 多 少	一 穂 当 た り も み 数 の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登 熟 の 良 否	当 年 値	対 平 年 差
宮 崎	やや少ない	やや少ない	少ない	やや良	99	1
広域沿海	やや少ない	やや少ない	少ない	やや良	99	1
鹿 児 島	少ない	平年並み	少ない	良	90	△ 4
薩摩半島	少ない	平年並み	少ない	良	98	△ 1
大隅半島	少ない	平年並み	少ない	良	88	△ 5
熊毛・大島	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	100	0

注： 1 「穂数の多少」、「1穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」、に用いた表示区分は、「多い（良）」が対平年比106%以上、「やや多い（やや良）」が同102~105%、「平年並み」が同99%~101%、「やや少ない（やや不良）」が同95~98%、「少ない（不良）」が同94%以下です。
2 刈取済面積割合の対平年差欄の「△」は、平年より少ないことを示します。

表3 普通栽培水稲の田植え及び出穂の状況 (8月15日現在)

区 分	田 植 期					出 穂 期					出穂済面積割合	
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		当 年 値	対 平 年 差
				平 年 比 較	前 年 比 較				平 年 比 較	前 年 比 較		
月 日	月 日	月 日	日	日	月 日	月 日	月 日	日	日	%	ポイント	
福 岡	5. 17	6. 18	6. 26	1日遅	2日遅	8. 2	…	…	…	…	31	0
福 岡	4. 26	6. 18	6. 27	2日遅	2日遅	7. 21	…	…	…	…	36	2
北九州・豊前	4. 26	6. 5	6. 24	1日遅	1日遅	7. 30	8. 13	…	並み	2日遅	68	4
筑 豊	4. 17	6. 11	6. 19	1日遅	1日早	7. 17	8. 13	…	並み	並み	60	△ 2
北筑後	6. 8	6. 23	7. 1	1日遅	4日遅	8. 12	…	…	…	…	6	1
南筑後	6. 15	6. 24	6. 27	1日遅	1日遅	…	…	…	…	…	1	△ 2
佐 賀	5. 7	6. 21	7. 1	並み	2日遅	7. 24	…	…	…	…	16	△ 2
佐 賀	5. 31	6. 22	7. 2	1日早	1日遅	8. 12	…	…	…	…	8	△ 3
松 浦	4. 27	6. 10	6. 25	1日遅	2日遅	7. 17	8. 15	…	1日早	1日早	50	1
長 崎	4. 22	6. 14	6. 29	並み	並み	7. 20	…	…	…	…	15	△ 2
西 彼	5. 28	6. 9	6. 20	3日遅	3日遅	…	…	…	…	…	1	△ 7
東南部	6. 10	6. 24	7. 1	1日早	並み	…	…	…	…	…	1	0
県 北	4. 18	6. 11	6. 26	1日遅	1日遅	7. 17	…	…	…	…	22	0
五 島	4. 13	6. 10	6. 19	5日遅	3日遅	7. 15	…	…	…	…	32	△ 10
壱岐・対馬	4. 22	5. 24	6. 16	2日遅	1日遅	7. 21	…	…	…	…	41	△ 3
熊 本	4. 21	6. 15	7. 4	1日遅	1日遅	7. 13	…	…	…	…	20	△ 2
県 北	6. 8	6. 26	7. 4	1日遅	1日遅	…	…	…	…	…	2	△ 1
阿 蘇	5. 16	5. 22	6. 7	3日遅	1日遅	8. 1	8. 8	…	1日遅	並み	75	△ 6
県 南	5. 8	6. 19	7. 24	1日早	1日早	7. 31	…	…	…	…	5	△ 3
天 草	4. 6	4. 14	6. 20	並み	並み	7. 3	7. 13	…	2日遅	並み	80	0
大 分	5. 18	6. 15	6. 29	3日遅	2日遅	8. 3	…	…	…	…	16	△ 6
北 部	5. 22	6. 22	7. 5	3日遅	1日遅	7. 27	…	…	…	…	6	△ 1
湾 岸	5. 22	6. 18	6. 29	2日遅	4日遅	8. 5	…	…	…	…	11	△ 5
南 部	5. 11	6. 10	6. 27	5日遅	4日遅	8. 6	…	…	…	…	18	△ 13
日 田	5. 14	6. 2	6. 17	2日遅	3日遅	8. 6	…	…	…	…	46	△ 2
宮 崎	6. 2	6. 17	6. 27	1日遅	1日遅	…	…	…	…	…	3	0
広域沿海	5. 31	6. 17	6. 28	1日遅	1日遅	…	…	…	…	…	2	△ 2
広域霧島	6. 7	6. 17	6. 26	並み	1日早	…	…	…	…	…	1	0
西北山間	5. 11	6. 14	6. 25	6日遅	8日遅	8. 3	…	…	…	…	15	9
鹿 児 島	6. 13	6. 21	7. 1	並み	並み	…	…	…	…	…	0	0
薩摩半島	6. 13	6. 21	6. 28	1日早	1日早	…	…	…	…	…	0	0
出水薩摩	6. 17	6. 22	7. 5	並み	並み	…	…	…	…	…	1	0
伊佐始良	6. 9	6. 19	6. 30	並み	1日遅	…	…	…	…	…	0	0
大隅半島	6. 9	6. 18	6. 23	並み	1日早	…	…	…	…	…	0	0

注：1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植え及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日です。

2 出穂期の「始期」、「最盛期」及び「終期」の欄の「…」は、8月15日現在でそれぞれの期日に達していないためです。

3 出穂済面積割合欄の対平年産欄の「△」は、平年より少ないことを示します。

表4 普通栽培水稻の生育状況（8月15日現在）

区 分	平 年 比 較		
	生 育 の 良 否	草 丈 の 長 短	茎 数 の 多 少
福 岡	平年並み	平年並み	平年並み
福 岡	やや良	平年並み	やや多い
北九州・豊前	平年並み	平年並み	やや少ない
筑 豊	平年並み	やや長い	やや少ない
北筑後	平年並み	やや短い	やや多い
南筑後	平年並み	やや長い	平年並み
佐 賀	平年並み	平年並み	平年並み
佐 賀	平年並み	平年並み	平年並み
松 浦	平年並み	平年並み	平年並み
長 崎	やや良	平年並み	やや多い
西 彼	平年並み	やや短い	やや多い
東南部	やや良	平年並み	やや多い
県 北	やや良	平年並み	多い
五 島	やや良	やや短い	多い
壱岐・対馬	やや良	平年並み	やや多い
熊 本	平年並み	平年並み	平年並み
県 北	平年並み	平年並み	平年並み
阿 蘇	やや不良	平年並み	少ない
県 南	平年並み	平年並み	平年並み
天 草	やや不良	平年並み	少ない
大 分	平年並み	平年並み	平年並み
北 部	やや良	平年並み	やや多い
湾 岸	平年並み	平年並み	平年並み
南 部	平年並み	平年並み	平年並み
日 田	平年並み	やや短い	平年並み
宮 崎	平年並み	平年並み	平年並み
広域沿海	やや不良	平年並み	やや少ない
広域霧島	平年並み	平年並み	平年並み
西北山間	平年並み	平年並み	平年並み
鹿 児 島	平年並み	やや短い	やや多い
薩摩半島	やや良	平年並み	やや多い
出水薩摩	やや良	やや短い	多い
伊佐始良	平年並み	やや短い	やや多い
大隅半島	平年並み	平年並み	平年並み

注：生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況及び一部のほ場における計測可能な穂数、もみ数等の計測結果等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではありません。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲調査の中の作柄概況調査として実施し、水稲の生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としています。

2 調査の対象

早期栽培は、8月中旬頃までに刈取りが概ね終了する早期栽培の面積割合が概ね3割以上占める県とし、九州においては宮崎及び鹿児島を対象としています。

3 調査対象数

作況標本筆：1,495筆 作況基準筆：152筆 巡回・見積り：233市町村

4 調査期間

8月15日現在で水稲の生育・作柄概況を調査しました。

5 調査方法

調査は、作況標本筆、作況基準筆に対する統計・情報センター職員による実測調査及び巡回調査により取りまとめました。

6 用語の解説

- 「穂数の多少」とは、1㎡当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。

多 少	少 ない	や や 少 ない	平 年 並 み	や や 多 い	多 い
対 平 年 比	94% 以 下	95 ~ 98%	99 ~ 101%	102 ~ 105%	106% 以 上

- 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。
- 作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率です。
- 10a当たり平年収量とは、水稲の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況を平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

7 利用上の注意

- 普通栽培水稲の生育状況（8月15日現在）は、稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではありません。

【関連リンク】

九州農政局ホームページ>統計情報

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/index.html>

九州農政局ホームページアドレス

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/>

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計係

電話：(代) 096-211-9111 内線 4944

直通電話： 096-211-9863

◎農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画係

電話：(代) 096-211-9111 内線 4924

直通電話： 096-211-9845